

てしかが



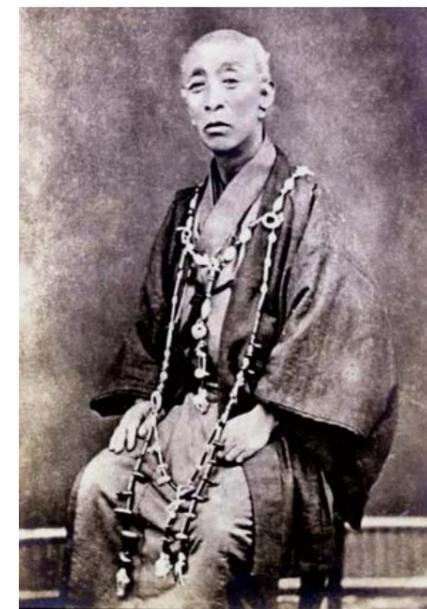
「おいしいお餅になぁ〜れ！」

12月7日に行われた、おひさま保育園(松岡厚子園長)の餅つきでの1コマです。園児は、代わる代わる一生懸命餅をつきました。ついた餅は、きなこ餅やお雑煮にしておいしくいただきました。

主な内容

- 町長・議長・教育長 年頭あいさつ……②
- 成年のみんなが頑張ること……④
- 平成28年度決算報告……⑥
- 釧路・根室広域地方税滞納整理機構……⑨
- 年末年始閉庁・休館のお知らせ……⑩
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……⑪

てしかが歴史写真館 201



姿がわかる唯一の写真(65歳のときに撮影)

顔と名前を覚えてください！
— 松浦武四郎メモリアルイヤー —

今年は、より一層、この姿を目にする機会が増えるかもしれません。名前は「松浦武四郎」と言います。どんな人物かを表すときに用いられるのは、「北海道の名づけ親」ですが、この8文字に至るまでの道のりには多くのドラマが秘められています。これから1年にわたり、そのうちの一部に過ぎませんがエピソードを紹介していきますので、まずは彼の生涯における岐路を押さえていただきます。

1818(文政元年)年 いせのくにいらしげんすけわじら伊勢国一志郡須川村(現・三重県松阪市小野江町)にて誕生

1858(安政5)年 調査のため、現在の弟子屈町に來訪

1869(明治2)年 「北海道道名・国名・郡名撰定上申書」提出

1888(明治21)年 東京神田五軒町の自宅にて逝去

つまり、2018年は誕生200年をはじめとして、北海道にとっても我が町にとっても、節目の年を迎えることとなります。

70年の人生を刻んだ時代背景。出生地から遠く離れた場所とつながった運命的な出会い。ホッカイドウという名称に込めた本当の思い。地元では今でも「武四郎さん」と呼ばれ、親しまれている理由。身長は150cmにも満たなかったという小柄な一人の男性が残した大きな功績は、この人だからこそ成し得たと思えるものばかりです。

てしかが郷土研究会(斎藤)